

2015年5月25日(月)

日本経済新聞 朝刊 11面

# 試作品生産能力3倍

## クロスエフェクト 医療需要伸びる

3D(3次元)プリンターなどを活用した試作

を中核事業とするクロスエフェクト(京都市、竹田正俊社長)は試作品な

どの生産能力を3倍に引き上げる。2015年内

にも本社工場を移転・拡張し、技術職を中心に従業員を順次増やす。医療現場で使われる心疾患患者の心臓模型の需要の伸

びに対応する。

5億円を投じて京都市伏見区に新たに本社工場を建設する。地上3階建てで延べ床面積は約

1620平方メートル。現在より5倍の広さを確保する。

デザイナーなど技術職の採用に力を入れ、5年以内に従業員数を現在の3倍弱にあたる70人に増

やす方針だ。

心疾患の術前シミュレーションに使うため、患者の心臓を忠実に再現した樹脂製の心臓模型の受注が伸びている。15年5

月期の医療向け製品の売上高は前期比で3倍になる見通し。

新工場では医療向け専門の製造ラインを新設する。本社内に滑り台を設

けるなど、デザイナーらの創造力を引き出す工夫も凝らす。

電化製品などの試作品を製造する事業では製造だけでなく設計提案にも力を入れる。同社の今期の連結売上高は約3億円の見込み。5年後をメドに10億円をめざす。